



平原祭り盆踊りに参加した
研修員のレナータさん(左)
アナさん(中)、ジェーンさん(右)



世界のこと、もっと知りたい!

もしり

Moshiri



70秋号 2017

2017年10月1日発行

HOKKAIDO
INTERNATIONAL
CENTER(OBIHIRO)

<http://www.jica.go.jp>

道東の技術、世界を変える

帰国研修員との一通のメールがきっかけ!

インドのジャガイモ生産の将来を見据え、収穫の効率化を目指す

- 企業名: 東洋農機株式会社(帯広市)
- 事業名: ジャガイモ収穫機普及に向けた普及・実証事業
- 対象国: インド

長年にわたりJICA北海道(帯広)の研修員受入事業にご協力頂いてきた東洋農機さんは、ジャガイモの生産量が世界第2位のインドを対象にジャガイモ収穫機のビジネス展開を検討していましたが、当初の計画は漠然としたものでした。そんな時に、以前帯広にJICA研修員として来日したインド人にメールで相談を持ちかけてみたところ、あっという間に計画が具体化することに! 自社では探するのが難しい、インド側の関係機関や主要な協力者も紹介してもらうことができました。

いざ現地で事業を開始してみると、日本よりもジャガイモの生産規模が大きいインド人には、「今さらジャガイモについて日本に教えてもらうことはない」と言われてしまうなど、現地で信頼を得るためには日本という看板だけでは不十分だったのです。そこで東洋農機さんは、自社の利益とは直結しないような、畑の土づくりや植え付けの段階から協力し、現地のやり方と日本のやり方の違いを実際に目で見て分かる形で示すことにしたのです。結果は一目瞭然! インド側の関係者からも「もっとジャガイモ生産のことを教えてほしい」と言われるまでに、今では現地での確かな信頼を獲得しています。

芋づる式に海外展開を!

東洋農機さんがインドで事業展開を図る中で気付いたこととして、自社の持つ技術によるジャガイモ収穫の効率化・機械化のニーズだけでなく、道東地域が持つその他の技術・経験がインドでも役に立ち、将来のビジネスチャンスになるのではないかと、というアイデアもあります。自社で協力できる収穫段階だけでなく、植え付けや圃場管理も含め、一連のジャガイモ生産のシステムを、他の道内企業と連携し、現地の課題解決を図るといふ、まさに「芋づる式」の海外展開の構想です! 我こそはという民間企業の皆さまからのご相談をお待ちしております!



【Before】これまでの収穫状況



【After】東洋農機の技術が導入された収穫状況



東洋農機の技術にインド人も興味津々!

~道東地域を飛び出し、海外展開を目指す中小企業のご紹介~

海外展開の水先案内人を道東で育成!

- 企業名: 日東建設株式会社(雄武町)
- 事業名: コンクリートテスター(CTS)を用いた道路付帯コンクリート構造物の点検技術の普及・実証事業
- 対象国: ナイジェリア

以前JICAの普及・実証事業を活用された日東建設さんは、その後もナイジェリアでのビジネス展開に向けた取り組みを進めています。そのひとつに、JICAの留学生事業で日本に来日中のナイジェリアからの研修員・オグンセイエさんに、同社でのインターンシップを経験してもらいました。オグンセイエさんは帰国後、日東建設さんのパートナーとして、現地でのビジネス展開を推進することが期待されています。



中小企業海外展開支援に関するお問い合わせ

JICA北海道(帯広)
担当: 林/木村 TEL: 0155-35-1210 E-mail: jicaobic@jica.go.jp

JICAによる中小企業海外展開支援の最新情報

ホームページ
https://www.jica.go.jp/sme_support/index.html



JICA北海道(帯広)では、開発途上国から来た多くの研修員が、自国で必要とされている知識や技術を学んでいます。



エフラインさん

自国の言葉であいさつ紹介

- 出身: ニカラグア
- 研修コース: 「子どもの学びを保障する」へき地教育の振興—SDGsの達成に向けて(B)

Q.ニカラグアはどんな国

ニカラグアは中央アメリカに属し、火山と湖で有名な国です。ニカラグアの大きな特徴は家族の絆が強く、常に家族と一緒に行動します。

Q.ニカラグアの人々にとって日本はどのような国ですか

ニカラグアで一番人気のスポーツは野球です。日本も野球が盛んですよね。多くのニカラグア人はワールドベースボールクラシックを見ていて、日本は野球の強い国と知られています。学校の算数(数学)の授業でも、2013年よりニカラグアでは日本式アプローチの指導法を取り入れており、日本の学校教育についても関心が高いです。

Q.JICAでの研修の目的は

日本には複式学級における子どもたちへのアプローチの仕方や指導法を学びにきました。小学校算数の授業を見学し、そこでは授業時間の使い方について学びました。日本の授業では4つのステップで子どもたちの理解を深めており、その手法はニカラグアと異なり大変参考になりました。また、先生による「直接指導」と、先生が別の学年を指導している時に子どもたち自身で理解を深める「間接指導」での黒板の使い方が参考になりました。



Q.日本でやってみたいことや

学んでみたい事はなんですか

ニカラグアでは音楽の指導をしています。そこで、日本の先生がピアノやギターなどの楽器を使用してどのような指導をしているかを学んでみたいです。



研修コースを支えてくださっている方をご紹介します

北海道教育大学釧路校
地域学校教育専攻 授業開発コース
授業開発研究室 境 智洋教授

Q1 国際協力(JICA研修員受入事業)に携るようになったきっかけを教えてください

4年前に研修が東京で実施していた際に、講師を依頼されたのがきっかけです。その時はまだ北海道での研修コースがなく東京周辺のコースのみでした。その後北海道教育大学釧路校がへき地教育に対する知見を有しており、北海道でも研修を実施することになったので、北海道でのコース設立から携っています。



閉講式にて

Q2 JICA研修に対してどのような想いでご協力いただいていますか

途上国を含め、世界中でへき地教育は実施されていますが、日本の教育方法や知見が他国で活かされることを願っています。同時に他国での教育方法などをこちらが学ぶ機会でもあるので、大変参考になります。

Q3 思い出に残っている研修のエピソードを教えてください

北海道に来た研修員が生まれて初めて雪を見た時の様子が印象に残っています。その時は子どもたちと一緒に雪中運動会に参加してもらいましたが、子どもよりもはしゃいで嬉しそうでした。

Q4 今後、このコースをどのようにしていきたいですか

へき地での教育がより良くなればと考えています。研修コースとして外国の人々が学ぶだけではなく、それを通じて例えば北海道教育大学の学生が彼らの国へボランティアに行く、教育の現場を訪れるなど、コースを通した広がりを見いだせればと思っています。



教員養成校の生徒と

青年海外協力隊

齊藤 昌義さん

- 派遣国: バヌアツ共和国
- 職種: 数学教育
- 派遣期間: 2016年7月~2018年3月



休日は海で過ごしています。

皆さん こんにちは!

現在、青年海外協力隊としてバヌアツ共和国に赴任している齊藤昌義です。バヌアツはニュージーランドの北に位置する島国で、約83の島で構成されています。南半球にある国なので、季節は日本と逆になります。北海道道東地域に比べると気温が高く、暑い季節が続きます。また、バヌアツは「世界一幸せな国」としても有名で、街を歩いていてもたくさんの人が笑顔で挨拶をしてくれます。

僕は今、バヌアツで唯一の教員養成校で、数学教育の向上を目指すための活動を行っています。主な活動内容は、数学の教授法のアドバイスや、学生の数学力の向上のための授業です。また、日本の教材や折り紙などの文化紹介も行っています。現地語とフランス語を駆使しながら、日々、やる気が溢れる元気な学生とともに生活をしています。残りの任期もバヌアツの教育のために行動し続けていきます。



授業では、教材を紹介しました

新道東から出発のボランティア紹介

2017年度
2次隊

Question

- ①現地での活動内容
- ②抱負・目標
- ③2年間でやりたいこと



清井 崇行さん

青年海外協力隊

- 出身: 訓子府町
- 派遣国: タイ
- 職種: 理学療法士

中村 みかこさん

シニア海外ボランティア

- 出身: 幕別町
- 派遣国: コスタリカ
- 職種: 日本語教育

- ①ナショナル大学で、日本語の授業および日本文化の紹介を行う。
- ②多くの人に興味を持ってもらえるように、日本語の普及に努めたい。
- ③コスタリカの大自然の中で、様々な動植物と出会いたい!

日置 加奈さん

青年海外協力隊

- 出身: 北見市
- 派遣国: スリランカ
- 職種: ソーシャルワーカー

- ①障害者や高齢者の調査。行政サービスの紹介と利用の促進など、障害者や高齢者の社会参加促進の支援。
- ②障害者や高齢者が自分らしく暮らしていける地域社会を作りたいです!
- ③休日には世界遺産めぐりをしたいです!

大隅 広大さん

青年海外協力隊

- 出身: 大空町
- 派遣国: ブルキナファソ
- 職種: 野球

- ①野球の認知度の向上。日本野球を通じ、人材育成とコーチや審判の育成。
- ②いつかオリンピックに出場できるための一助を担いたいです。
- ③フランス語の習得、近隣諸国へ旅行、現地の食文化や異文化に少しでも触れる。

近藤 博さん

シニア海外ボランティア

- 出身: 北見市
- 派遣国: ベトナム
- 職種: 獣医・衛生

- ①農業大学獣医学科の診断技術向上
- ②大学内に限定せず、地域の獣医師・農家も対象とした活動
- ③アジアの地方を巡る旅

草の根技術協力事業進捗報告

モンゴルに日本式の農産物直売所を作ろう! ～モンゴル人研修員が十勝の施設で研修～

JICA北海道(帯広)では2016年3月より、草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)「農産物等の流通改善および土壌改良による農業者の収益向上事業(提案自治体:帯広市/実施団体:一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部)」が実施されています。このプロジェクトは、十勝に近い気候を持つモンゴルで、土壌改良による農産物の品質向上と、農産物直売所設置による販路拡大によって、農業者の所得向上を目指すものです。6月12日から8月4日まで、モンゴルの直売所で店舗運営を担うナンディアさんとオーギーさんが来日し、池田町の「まきばの家」や浦幌町の「ザ・ベジタブルショップ21」などの施設で商品の流通・加工や特産物を活かした料理を学ぶ研修を行いました。モンゴルにどんな直売所が完成するのか、ご期待下さい!



農産物直売所の運営ノウハウを学ぶ

ベトナムでも新鮮でおいしい魚を!～ベトナム人研修員が釧路の企業で研修～

2017年3月から実施されている、草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)「ダナン市における水産物バリューチェーンモデル構築プロジェクト」(提案自治体:釧路市/釧路総合振興局 実施団体:釧路商工会議所)では、ベトナムの水産物衛生管理・鮮度保持技術の向上、新商品開発、販路モデル作りを行っています。この事業を通じ、現地の水産物の活性化と、釧路市・ダナン市の交流促進を目指しています。8月21日から28日の8日間、5名の研修員が来日しました。釧路の企業3社の協力を受け、今回は実際に機材を動かして、効果的な使い方や仕組み、メンテナンス方法などを学びました。熱心な様子で説明に耳を傾け、水産物の衛生・鮮度保持に役立つ技術を学んだ研修員。今後の活動に期待が寄せられています。



実際に機材で水を生成

機材を前に説明を聞く研修員

食や遊び、音楽で異文化交流♪「世界のともだち2017」を開催しました

十勝管内最大級の国際交流イベント「世界のともだち2017」を、JICA北海道(帯広)と、隣接する「森の交流館・十勝」で7月2日に開催しました。当日は約1,800名の来場者が、各国の料理や遊びなどを通じて異文化に触れたり、来場した研修員とのコミュニケーションを楽しみました。今年の目玉企画は、研修員による和太鼓の演奏!音更駒太鼓の皆様と事前に練習を重ね、当日はお揃いのほっぴ姿でステージイベントのオープニングを飾りました。



ポーズもばっちり決まった迫力のある演奏

高校生国際協力体験プログラム ～夏休み編～ を開催しました

8月5日(土)、十勝管内から高校生12名が集まり、開発途上国のことや国際協力について学ぶ、参加型学習を実施しました。今回行った参加型学習では「世界がもし100人の村だったら」、「貿易ゲーム」のようなワークショップを通じ、識字教育が受けられないことが生み出す問題や、世界の経済格差はどうしてなくなるのかなどを疑似体験しながら学びました。高校生からは、「途上国のことや、いまの世界の状況を知り、とても勉強になった」「今日学んだことを他の人に発信することが重要だと感じた」という声が寄せられました。また、ランチタイムにはJICA研修員や帯広畜産大学の留学生と英語を使ったゲームをして国際交流を楽しみました。日本には馴染みのない国から来ている人たちも多く、世界地図を見ながら、日本と外国の文化・習慣の違いについて語り合っていました。高校生国際協力プログラムは、1月13日(土)にも開催予定です。より一段と楽しく学べる企画を準備しています。道東在住の高校生のご参加をお待ちしています!



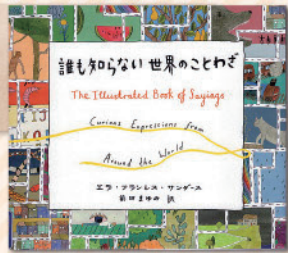
英語を駆使して国際交流。外国の人にとって北海道はどのように見えているの?

JICA北海道(帯広)図書資料室「おびくっく」

おすすめ図書

『誰も知らない世界のことわざ』

著者/イラスト エラ・フランシス・サンダース、訳 前田まゆみ
発行所 株式会社 創元社



「あそこでクマが踊っているよ!」、「エピソードによってすべてっていく」、「ガレージにいるタコのような気分」— 謎に満ちたこれらのことわざは、一体どこの国の表現でどんな意味があるのでしょうか。本書は、そんな世界の言葉や文化からの特有の表現をかわいらしいイラストと共に紹介。地域によって、食べるものや着ている服が違いうように、ことわざだって違うのです。ユニークな表現に思わずくりとせずにはいられない。そんな奇想天外なことわざの世界へ連れて行ってくれる一冊です!

開室時間 火曜日から日曜日 午後1時~午後6時30分

閉室日 月曜日・祝日・年末年始

お問合せ TEL/FAX 0155-41-4100

JICA北海道(帯広)レストラン

おびくっく

10/2~12/25までの期間限定メニュー

営業時間

昼 / 11:30~14:30

夜 / 17:30~20:30

(ラストオーダー 30分前、不定休)



ワールドランチ東南アジア編

.....800円

タイ・ベトナム料理が楽しめるお得なセット! あっさりスープに蒸し鶏がのった麺料理「フォー・ガー」、ココナッツの香りがするタイ風のお粥「カオニャオ」、柔らかく肉厚な豚肉とシャキシャキ野菜のあんかけ料理「ラートナー」、ライチに似た南国フルーツ「ランプータン」、自家製ダレに漬込んで揚げた「チキン・サテ風から揚げ」など異国情緒溢れる料理が1つのプレートに納まっています。



JICA北海道(帯広)代表
晋川 真



皆様はじめまして。東京からあこがれの帯広に参りました。とにかく素晴らしい環境、そして地域の皆さんのやさしさに感動しています。途上国から来た研修員が道に迷った時、見知らぬ方に、よく助けてもらっています。箸の使い方を教わり、一緒に踊り、別れを惜しみ、まるで古くからの友人のように声をかけてもらっています。人種や文化を超えて、同じ「人」として付き合える地域の皆さんの包容力に、真の国際感覚を見るような気がしています。これからも感謝の気持ちを忘れず、途上国のため、そして道東の発展のために尽力して参ります。

赤坂 聖乃



研修員が日本に来るまでに、どれくらいの方が関わっていると思いますか? 私も正確にはわからないのですが、各国の政府、所属機関、大使館、旅行会社の方々などをはじめ、世界中のたくさんのの方々協力を経て、日本にやってきます。そんな彼らが講師の方々から知識や技術を学び、市民の皆様と笑顔や言葉を交わし、困ったときは助けていただく... 奇跡のようなご縁の積み重ねだと思います。研修員受入事業は、国と国だけでなく、人と人を結ぶ仕事だと日々感じています。良い「結び」のお手伝いができるよう、頑張ります。よろしくお祈りします。

What's new!

JICA北海道(帯広) 発
インフォメーション

お問合せ

TEL.0155-35-1210

「もしり」バックナンバーの紹介

これまでの「もしり」をいつでも、どこでもお手元でご覧になれます。JICA北海道(帯広)と道東地域のつながりを10年以上前から遡ってご確認いただけます。「国際協力新聞」から「もしり」まで全ての記事を網羅しておりますので活用ください。



JICAボランティア 2017 秋募集

青年海外協力隊

シニア海外ボランティア

体験談&説明会

募集期間

2017年9月29日(金)~11月1日(水)

研修コース一般公開

JICA北海道(帯広)では、市民の皆さんにJICA研修員受入事業を広くご理解いただきたく、研修発表会を公開しています。途上国の現状を知るとともに、参加研修員が十勝・帯広で学んだ技術を帰国後どのように活かしていくのか聞いてみませんか? 発表は英語で実施されます。

日程	コース名	内容	場所	締切
10/19(木)	小学校理科教育の質的向上(「教と学び」の現場教育)	参加国紹介	JICA北海道(帯広)	10/17(火)
11/16(木)・17(金)	地域住民の参加による持続的な森林管理	研修成果発表	JICA北海道(帯広)	11/4(土)
12/15(金)	小学校理科教育の質的向上(「教と学び」の現場教育)	研修成果発表	JICA北海道(帯広)	12/13(水)

※お申込は締切日までお願いします(定員5名・先着順)

※研修発表会は変更になることがあります(開催日が近くなりましたら、ホームページでご案内を致します)

帯広市	10月7日(土) 15:00~17:00	JICA北海道(帯広) 2階オリエンテーションルーム
帯広市	10月14日(土) 15:00~17:00	カフェ&バー ヌプカ
中標津町	10月21日(土) 10:00~12:00	中標津町総合文化会館しるべっと 視聴覚室
釧路市	10月21日(土) 16:00~18:00	釧路市生涯学習センター (まなぼっと幣舞)7階 学習室703
北見市	10月22日(日) 10:00~12:00	オホーツク木のプラザ 第1・第2研修室